SDGs未来都市『山都町がつくる持続可能な世界』

～山都町おむすびプロジェクト～　（山都町SDGs連携協定事業）



10月3日、通潤橋前の田んぼおよび田所の「トヨたんぼ」にて、稲刈りと掛け干しの体験イベントが開催されました。本イベントは、山都町とユナイテッドトヨタ熊本が締結したSDGs推進に関する連携協定のもと、地域貢献活動の一環として実施され、ユナイテッドトヨタ熊本のお客様をはじめ、約100名の皆さまが参加されました。

6月に田植えを行った苗は秋を迎え、たくさんの穂を実らせ、田んぼ一面が黄金色に輝いていました。収穫作業はすべて手作業で行われ、参加者は刈り取った稲を藁で縛り、丁寧に掛け干し作業まで進めました。不慣れな作業に初めは戸惑いつつも、参加者の皆さまは最後まで笑顔で楽しんでいました。

収穫されたお米は、11月に開催される「UTワンダーランド」にて、おむすびとして販売される予定です。今後も、地域とのつながりを深めるこうした取り組みに、ぜひご期待ください。



鎌を使って刈り取っていきます



通潤橋に見守られ、掛け干しされた稲

福田病院「母と子の農園」で稲刈り交流会





10月4日、小笹にある福田病院「母と子の農園」で稲刈り交流会が開催されました。食育を通したJA矢部有機農業研究会との交流が20年ほど続いているものです。

当日は、福田病院で生まれて今年小学校1年生になった子どもと、その家族27組が参加。6月に行われた田植え体験で植えた苗が実りを迎えた田んぼで、鎌を使って一株ずつ丁寧に稲を刈り取りました。刈り取った稲は「かけ干し」を行い、収穫の喜びを親子で体験したほか、山都町の農産物をふんだんに使った昼食が振る舞われるなど、楽しい一日となりました。

収穫されたお米は、福田病院の病院食や院内レストランで提供される予定です。自分たちで植え、収穫したお米が食卓に届くまでを体験する、貴重な交流の機会となっています。